

令和5年度「花岡農村環境改善センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

花岡農村環境改善センターについては、株式会社秋田東北ダイケンが指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月3日

施設名	花岡農村環境改善センター
設置目的	農村経営及び農家生活の改善合理化、農業者等の健康増進、地域連帯感の醸成等を図り、農村の環境整備を組織的に推進するため、農村環境整備共同利用センターを設置する。
所在地	青森市浪岡大字女鹿沢字野尻14番地1
指定管理者	【名称】株式会社秋田東北ダイケン 【代表者】代表取締役 高井 行則 【住所】秋田県秋田市中通二丁目2番32号
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果	
		適正	要改善
管理について	職員は適正な配置となっているか。	○	
	職員の研修が行われているか。	○	
	保守点検業務が適切に行われているか。	○	
	防犯、防火、緊急時の対応が的確に行なわれるようになってきているか。	○	
	個人情報保護について適切な対応が行われているか。	○	
	省エネルギーに努めているか。	○	
運営について	市民の平等な利用が確保されているか。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	○	
	サービス向上の対策がされているか。	○	
	PRやイベントなど利用促進への取り組みが行われているか。	○	

【総合評価】

施設の管理運営状況は仕様書どおり実施され、概ね適正である。今後も適切な管理・運営に努めていただきたい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市農林水産部農地林務課
【電 話】 0172-62-1179（直通）
【メー ル】 nochirimmu@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「花岡公園」に係るモニタリング評価結果（第1回）

花岡公園については、株式会社秋田東北ダイケンが指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月3日

施設名	花岡公園
設置目的	市民の憩いや安らぎ、健康増進、文化、レクリエーション活動の拠点として、子供からお年寄りまで多くの人々が利用し、楽しむことができる場を提供するとともに、美しく潤いのある都市景観を形成し、公共の福祉の増進に資することを目的とする。
所在地	青森市浪岡大字女鹿沢字野尻14番地1
指定管理者	【名称】株式会社秋田東北ダイケン 【代表者】代表取締役 高井 行則 【住所】秋田県秋田市中通二丁目2番32号
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	施設管理業務が適切に行われているか。	仕様書どおり適正に行われている。	○	
	防犯、防災、緊急時の対応が的確に行われるようになってきているか。	緊急連絡網を整備し、花岡プラザ・農村環境センターと合同で年2回避難訓練を行っており、緊急時への対応が的確に行える体制を整えている。	○	
	個人情報保護について適切な対応が行われているか。	青森市個人情報保護条例を遵守しているほか、社内の個人情報保護規定に沿った事務処理を行っている。	○	
	環境保全に対する取組みが行われているか。	節水・節電等によるエネルギー使用量の削減のほか、環境負荷の軽減に資する物品の購入に努めている。	○	
運営について	市民の平等な利用が確保されているか。	特定の個人及び団体が優遇されることのないよう、施設情報を発信し、市民の平等な利用の確保に努めている。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	利用者や地元代表者等参加による運営委員会を開催し、意見の徴収を行い業務に反映させるよう努めている。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	地域の清掃活動に参加しているほか、各種イベント実施時に、地域・関係団体との積極的な連携を図り、地域の活性化に努めている。	○	
	サービス向上の対策がされているか。	草刈りや樹木管理を行い、公園が持つ様々な機能を十分に発揮させるなど、市民が公園を利用しやすいよう努めている。	○	

【総合評価】

管理運営業務について、仕様書に基づき適正に実施されている。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市浪岡振興部都市整備課
【電 話】 0172-62-1168
【メー ル】 n-toshiseibi@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市営住宅等（浪岡地区）」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市営住宅等（浪岡地区）については、有限会社皆成建設が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月25日

施設名	青森市営住宅等（浪岡地区）
設置目的	健康で文化的な生活を営むに足る住宅を、住宅に困窮している低所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するため。
所在地	青森市浪岡大字浪岡字平野41番地内ほか5地区（6団地）
指定管理者	【名称】有限会社 皆成建設 【代表者】代表取締役 前田 憲秀 【住所】青森市浪岡大字銀字杉田147番地1
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	職員等の配置は適切なものとなっているか	実務経験があり、緊急時の対応も可能な職員が配置されている。	○	
	職員の育成に向けた研修等が実施されているか	全職員を対象とした接遇研修への参加が計画されている。	○	
	防犯、防災、緊急時の対応に関する取組みがなされているか	市・管理人らと緊急時における連絡体制が構築されており、防災訓練も実施することとしている。	○	
	個人情報保護に関する取組みがなされているか	書類の施錠管理やPCのネット接続の禁止等により個人情報の保護への対策がなされている。	○	
	環境保全、負荷低減の取組みがなされているか	定期巡回や団地訪問時に設備の異常や変化を注視するとともに、LED電球の導入等による環境配慮を行っている。	○	
運営について	市民の平等な利用の確保に向けた取組みがなされているか	市営住宅の設置目的を理解し、入居者の平等性や公平性に配慮するよう努めているほか、状況に応じて福祉関連の部署との連携をとっている。	○	
	利用者の要望の把握と反映方法について	仕様書に基づいた対応を行っており、状況に応じて市と協議を行ないながら迅速な対応に努めている。	○	
	修繕業務への対応について	仕様書に基づき、適切に行われている。	○	
	収納業務への対応について	仕様書に基づき、適切に行われている。	○	
	不法行為等への対応について	仕様書に基づき、適切に行われている。	○	

【総合評価】

施設の管理運営業務について、協定書、仕様書に基づき適正に行われている。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市浪岡振興部都市整備課
【電話】 0172-62-1145
【メール】 n-toshiseibi@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市文化会館」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市文化会館については、一般財団法人青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月31日

施設名	青森市文化会館
設置目的	市民の文化活動及び集会等の用に供し、もって芸術文化の振興及び市民福祉の増進に資することを目的とする。
所在地	青森市堤町1丁目4番1号
指定管理者	【名称】一般財団法人青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 木村 文人 【住所】青森市雲谷字梨の木63番地
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	サービスの質を落とさない効率的な業務員の配置となっているか。	業務員の配置については施設の受付、貸出業務等の窓口業務と施設の管理運営業務、文化振興事業に係る業務に分けられるが、繁忙期にはそれぞれ補充するなど、効率的な人員配置を行っている。	○	
	業務員の研修が行われているか。	職員研修計画に基づき接遇研修、会計研修などを実施している。	○	
	各種保守点検・管理業務が適切に行われているか。	設備等の保守点検や定期的な施設の見回りにより、不具合箇所について直ちに対策を講じるとともに、市へ報告している。	○	
	防犯、防災、緊急時に迅速かつ的確な対応を行えるように備えているか。	危機管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図るとともに、防災訓練を実施するなど、緊急時の対応の備えが十分になされている。	○	
	個人情報の保護について適切な対応が行われているか。	個人情報保護規程に基づき、事務室の鍵付キャビネットに書類を保管する等、個人情報の取扱には細心の注意を払っている。	○	
運営について	環境保全の推進及び環境負荷の低減に努めているか。	環境方針を定め、環境管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図り、省資源に努めるとともに、施設利用者に対しても施設掲示により省資源への理解と協力を求めている。	○	
	市民の平等利用が確保されているか。	原則、先着順で利用申込を受けているが、利用希望者が複数の場合は抽選により利用者を決定するように配慮するなど平等・公平性の確保に努めている。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	意見箱の設置や事業毎のアンケートの実施により寄せられた意見は全職員に閲覧し、改善点の意識共有を図っている。施設や設備の不具合に関する指摘については、直ちに現場確認後、対策を講じている。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	青森市文化団体協議会など、各種文化団体と連携してさまざまな文化事業を開催している。	○	
	利用率向上に努めているか。	2か月先までの催事予定と1年先までの施設予約状況をホームページで公開するとともに、催事予定は館内サイネージに表示するなど、利用者の増加に取り組んでいる。また、予約の入っていない時期には自主事業を開催し、利用率向上に努めている。	○	

【総合評価】

- 管理状況については、効率的な人員配置を行っており、各種保守点検、管理業務についても適切に行われている。
- 運営状況については、市民の平等利用の確保、利用者の要望、意見の把握と反映に努めている。
- 今年度から一部利用料金制となったが、窓口で現金払を可能とする等、利用者の利便性を確保する取組が行われている。
- 利用状況については、新型コロナウイルス感染症拡大前に近い水準まで利用者数が増加している。
- 事業状況については、計画通り着実に実施されている。
- 指定管理者ではネーミングライツスポンサーが提供したサイネージを導入し、施設利用情報の随時更新や、催事情報の動画や静止画による提供等を行っており、施設利用者の利便性向上に大きく繋がっていることから、今後も新たな取組に挑戦してほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課
【電 話】 017-718-1432（直通）
【メール】 bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市文化会館地下駐車場」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市文化会館地下駐車場については、一般財団法人青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。
 指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月31日

施設名	青森市文化会館地下駐車場
設置目的	都市における道路交通の円滑化を図り、もって公衆の利便に資するとともに、都市の機能の維持及び増進に寄与することを目的とする。
所在地	青森市堤町1丁目4番13号
指定管理者	【名称】一般財団法人青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 木村 文人 【住所】青森市雲谷字梨の木63番地
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	サービスの質を落とさない効率的な業務員の配置となっているか。	文化会館と地下駐車場において、催事等の繁忙期には人員をシフトするなど、効率的な人員配置を行っている。	○	
	業務員の研修が行われているか。	職員研修計画に基づき接遇研修、会計研修などを実施している。	○	
	各種保守点検・管理業務が適切に行われているか。	設備等の保守点検や定期的な施設の見回りにより、不具合箇所について直ちに対策を講じている。	○	
	防犯、防災、緊急時に迅速かつ的確な対応を行えるように備えているか。	危機管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図るとともに、防災訓練を実施するなど、緊急時の対応の備えが十分になされている。	○	
	個人情報の保護について適切な対応が行われているか。	個人情報保護規程に基づき、個人情報の取扱には細心の注意を払っている。	○	
運営について	環境保全の推進及び環境負荷の低減に努めているか。	環境方針を定め、環境管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図り、省資源に努めるとともに、施設利用者に対しても省資源に対する理解と協力を求めている。	○	
	市民の平等利用が確保されているか。	114台の駐車場は入場順での利用となるが、障害者専用駐車場を4台分確保している。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	アンケートの実施等により寄せられた意見は全職員に閲覧し、改善点の意識共有を図っている。施設や設備の不具合に関する指摘については、直ちに現場確認後、対策を講じている。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	満車が予測される場合はSNS等で周知し、満車時は近隣駐車場の一覧表を配布して他の駐車場へ誘導するなど、近隣の交通の妨げとならないよう努力している。	○	
	利用率向上に努めているか。	文化会館利用者の減少と連動して利用台数が伸び悩んでいるが、駐車利用回数券の販売PRの掲示を施設内複数箇所に掲示し、定期利用者増に伴う利用率向上に努めている。	○	

【総合評価】

- 管理状況については、効率的な人員配置を行っており、各種保守点検、管理業務についても適切に行われている。
- 運営状況については、市民の平等利用の確保、利用者の要望、意見の把握と反映に努めている。
- 利用状況については、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症からの回復傾向が続いており、利用台数及び利用率が増加している。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課
【電 話】 017-718-1432（直通）
【メール】 bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市民ホール」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市民ホールについては、一般財団法人青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月31日

施設名	青森市民ホール
設置目的	市民に、演劇、舞踊、音楽等を通じ、若しくは練習し、又は鑑賞する機会及び市民の交流の場を提供し、もって芸術・文化の普及振興及び市民の交流の促進を図ることを目的とする。
所在地	青森市柳川1丁目2番14号
指定管理者	【名称】一般財団法人青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 木村 文人 【住所】青森市雲谷字梨の木63番地
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	サービスの質を落とさない効率的な業務員の配置となっているか。	業務員の配置については施設の受付、貸出業務等の窓口業務と施設の管理運営業務、文化振興事業に係る業務に分けられるが、繁忙期にはそれぞれ補充するなど、効率的な人員配置を行っている。	○	
	業務員の研修が行われているか。	職員研修計画に基づき接遇研修などを実施している。	○	
	各種保守点検・管理業務が適切に行われているか。	設備等の保守点検や定期的な施設の見回りにより、不具合箇所について直ちに対策を講じている。	○	
	防犯、防災、緊急時に迅速かつ的確な対応を行えるように備えているか。	危機管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図るとともに、防災訓練を実施するなど、緊急時の対応の備えが十分になされている。	○	
	個人情報の保護について適切な対応が行われているか。	個人情報保護規程に基づき、事務室の鍵付キャビネットに書類を保管する等、個人情報の取扱には細心の注意を払っている。	○	
運営について	環境保全の推進及び環境負荷の低減に努めているか。	環境方針を定め、環境管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図り、省資源に努めるとともに、施設利用者に対しても省資源に対する理解と協力を求めている。	○	
	市民の平等利用が確保されているか。	原則、先着順で利用申込みを受けているが、利用希望者が複数の場合は抽選により利用者を決定するように配慮するなど平等・公平性の確保に努めている。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	意見箱の設置や事業毎のアンケートの実施により寄せられた意見は全職員に閲覧し、改善点の意識共有を図っている。施設や設備の不具合に関する指摘については、直ちに現場確認後、対策を講じている。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	青森市文化団体協議会など、各種文化団体と連携してさまざまな文化事業を開催している。また、市教委と連携し、1階ギャラリースペースを文化芸術活動のために貸し出す社会実験に協力し、各団体へ周知活動を行っている。	○	
	利用率向上に努めているか。	2ヶ月先までの催物案内と1年先までの施設予約状況をホームページで公開するとともに、貸し施設が空いている時には、自主事業を開催するなど、利用率向上に努めている。	○	

【総合評価】

- 管理状況については、効率的な人員配置を行っており、各種保守点検、管理業務についても適切に行われている。
- 運営状況については、市民の平等利用の確保、利用者の要望、意見の把握と反映に努めている。
- 今年度から一部利用料金制となったが、窓口で現金払を可能とする等、利用者の利便性を確保する取組が行われている。
- 利用状況については、新型コロナウイルス感染症拡大前に近い水準まで利用者数が増加している。
- 事業状況については、計画通りに実施されている。
- 貸館業務のほか、市教委が行うギャラリー貸出に係る社会実験にも積極的に協力し、施設の利用機会創出を図っている。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課
【電 話】 017-718-1432（直通）
【メール】 bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市民ホール駐車場」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市民ホール駐車場については、一般財団法人青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月31日

施設名	青森市民ホール駐車場
設置目的	都市における道路交通の円滑化を図り、もって公衆の利便に資するとともに、都市の機能の維持及び増進に寄与することを目的とする。
所在地	青森市柳川1丁目2番14号
指定管理者	【名称】一般財団法人青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 木村 文人 【住所】青森市雲谷字梨の木63番地
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	サービスの質を落とさない効率的な業務員の配置となっているか。	通常は機械式システムによる無人での対応となっており、不具合等が生じた際には職員が対応している。	○	
	業務員の研修が行われているか。	職員研修計画に基づき接遇研修などを実施している。	○	
	各種保守点検・管理業務が適切に行われているか。	設備等の保守点検や定期的な施設の見回りにより、不具合箇所について直ちに対策を講じている。	○	
	防犯、防災、緊急時に迅速かつ的確な対応を行えるように備えているか。	危機管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図るとともに、防災訓練を実施するなど、緊急時の対応の備えが十分になされている。	○	
	個人情報の保護について適切な対応が行われているか。	個人情報保護規程に基づき、個人情報の取扱には細心の注意を払っている。	○	
運営について	環境保全の推進及び環境負荷の低減に努めているか。	環境方針を定め、環境管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図り、省資源に努めるとともに、施設利用者に対しても省資源に対する理解と協力を求めている。	○	
	市民の平等利用が確保されているか。	34台の駐車場は入場順での利用となるが、障害者専用駐車場を2台分確保している。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	アンケートの実施等により寄せられた意見は全職員に閲覧し、改善点の意識共有を図っている。施設や設備の不具合に関する指摘については、直ちに現場確認後、対策を講じている。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	満車の際は近隣駐車場の一覧表を配布し、他の駐車場へ誘導するなど、利用者や近隣の交通に不便をかけないよう努力している。	○	
	利用率向上に努めているか。	施設の利用率向上に取り組むとともに、駐車場パンフレットを配布することにより、駐車場利用率向上に努めている。	○	

【総合評価】

- 管理状況については、効率的な人員配置を行っており、各種保守点検、管理業務についても適切に行われている。
- 運営状況については、市民の平等利用の確保、利用者の要望、意見の把握と反映に努めている。
- 利用状況については、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症からの回復傾向が続いており、利用台数及び利用率が増加している。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課
【電 話】 017-718-1432（直通）
【メー ル】 bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市合浦亭」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市合浦亭については、一般財団法人青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月31日

施設名	青森市合浦亭
設置目的	茶道、華道、俳句、短歌等の文化活動及び各種研究集会の用に供し、もって芸術文化の振興および市民福祉の増進に寄与することを目的とする。
所在地	青森市合浦2丁目16番14号
指定管理者	【名称】一般財団法人青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 木村 文人 【住所】青森市雲谷字梨の木63番地
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	サービスの質を落とさない効率的な業務員の配置となっているか。	通常は施設を施設し無人としており、施設の受付、貸出業務等の窓口業務と施設の管理運営業務、文化振興事業に係る業務は文化会館の職員が担当しており、効率的な人員配置となっている。	○	
	業務員の研修が行われているか。	職員研修計画に基づき接遇研修などを実施している。	○	
	各種保守点検・管理業務が適切に行われているか。	設備等の保守点検や定期的な施設の見回りにより、不具合箇所について直ちに対策を講じている。	○	
	防犯、防災、緊急時に迅速かつ的確な対応を行えるように備えているか。	危機管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図るなど、緊急時の対応の備えが十分になされている。	○	
	個人情報の保護について適切な対応が行われているか。	個人情報保護規程に基づき、文化会館事務室の鍵付キャビネットに書類を保管する等、個人情報の取扱には細心の注意を払っている。	○	
運営について	環境保全の推進及び環境負荷の低減に努めているか。	環境方針を定め、環境管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図り、省資源に努めるとともに、施設利用者に対しても省資源に対する理解と協力を求めている。	○	
	市民の平等利用が確保されているか。	原則、先着順で利用申込みを受けているが、利用希望者が複数の場合は抽選により利用者を決定するように配慮するなど平等・公平性の確保に努めている。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	意見箱の設置や事業毎のアンケートの実施により寄せられた意見は全職員に閲覧し、改善点の意識共有を図っている。施設や設備の不具合に関する指摘については、直ちに現場確認後、対策を講じている。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	茶道団体と連携し、文化事業を実施している。合浦公園を管理している、パークメンテ青い森グループと協力しながら振興に努めている。	○	
	利用率向上に努めているか。	ホームページやSNSによる情報提供のほか、各種関係団体への利用促進のPR活動を行っており、文化団体と共催で自主事業を開催することで、利用率向上に努めている。	○	

【総合評価】

- 管理状況については、効率的な人員配置を行っており、各種保守点検、管理業務についても適切に行われている。
- 運営状況については、市民の平等利用の確保、利用者の意見要望の把握と反映に努めている。
- 今年度から一部利用料金制となったが、窓口で現金払を可能とする等、利用者の利便性を確保する取組が行われている。
- 利用状況については、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復途上にあり、利用者は以前の水準に達してはいないが、従来行ってきた各種関係団体への利用促進のPR活動や文化団体と共同で自主事業の開催に加え、SNSにおいて写真撮影など、これまで中心であった茶道以外の用途でも利用が可能である旨を紹介するなど、利用率向上に努めている。
- 事業状況については、計画通りに実施されている。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課
【電 話】 017-718-1432（直通）
【メー ル】 bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市民美術展示館」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市民美術展示館については、一般財団法人青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月31日

施設名	青森市民美術展示館
設置目的	市民に美術作品の展示及び鑑賞の機会を提供し、もって芸術・文化の普及振興を図ることを目的とする。
所在地	青森市新町2丁目7番1号
指定管理者	【名称】一般財団法人青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 木村 文人 【住所】青森市雲谷字梨の木63番地
指定期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日まで（1年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	サービスの質を落とさない効率的な業務員の配置となっているか。	業務員の配置については施設の受付、貸出業務等の窓口業務と施設の管理運営業務、文化振興事業に係る業務に分けられるが、繁忙期にはそれぞれ補充するなど、効率的な人員配置を行っている。	○	
	業務員の研修が行われているか。	職員研修計画に基づき接遇研修などを実施している。	○	
	各種保守点検・管理業務が適切に行われているか。	設備等の保守点検や定期的な施設の見回りにより、不具合箇所について直ちに対策を講じている。	○	
	防犯、防災、緊急時に迅速かつ的確な対応を行えるように備えているか。	危機管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図るとともに、防災訓練を実施するなど、緊急時の対応の備えが十分になされている。	○	
	個人情報の保護について適切な対応が行われているか。	個人情報保護規程に基づき、事務室の鍵付キャビネットに書類を保管する等、個人情報の取扱には細心の注意を払っている。	○	
運営について	環境保全の推進及び環境負荷の低減に努めているか。	環境方針を定め、環境管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図り、省資源に努めるとともに、施設利用者に対しても省資源に対する理解と協力を求めている。	○	
	市民の平等利用が確保されているか。	原則、先着順で利用申込みを受けているが、利用希望者が複数の場合は抽選により利用者を決定するように配慮するなど平等・公平性の確保に努めている。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	意見箱の設置や事業毎のアンケートの実施により寄せられた意見は全職員に閲覧し、改善点の意識共有を図っている。施設や設備の不具合に関する指摘については、直ちに現場確認後、対策を講じている。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	青森市文化団体協議会など、各種文化団体と連携してさまざまな文化事業を開催している。	○	
	利用率向上に努めているか。	2ヶ月先までの催物案内と1年先までの施設利用予定状況をホームページで公開するとともに、貸し施設が空いている時には、自主事業を開催するなど、利用率向上に努めている。	○	

【総合評価】

- 管理状況については、効率的な人員配置を行っており、各種保守点検、管理業務についても適切に行われている。
- 運営状況については、市民の平等利用の確保、利用者の意見要望の把握と反映に努めている。
- 今年度から一部利用料金制となったが、窓口で現金払を可能とする等、利用者の利便性を確保する取組が行われている。
- 利用状況については、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復が引き続いており、着実に利用者数が増加している。
- 事業状況については、予定通り準備が行われている。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課
【電 話】 017-718-1432（直通）
【メー ル】 bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市沖館市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市沖館市民センターについては、青森市沖館市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月25日

施設名	青森市沖館市民センター
設置目的	住民のふれあいと連帯感あふれる地域社会づくりを推進し、併せて地域文化活動の振興、生涯学習の充実、健康の増進等を図り、もって豊かな市民生活の形成に資するため設置しています。
所在地	青森市沖館一丁目1番11号
指定管理者	【名称】青森市沖館市民センター管理運営協議会 【代表者】会長 菊地 賢一 【住所】青森市沖館一丁目1番11号
指定期間	令和3年4月1日 から 令和8年3月31日 まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果		
		適正	要改善	
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は基本的に市内在住者である。（20人中20人、100%）	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、総括業務員1名、管理運営・事業関連業務員4名、施設管理業務員5名、清掃員4名、放課後児童会指導員5名の計20名で勤務ローテーションを組み、日中は概ね5~7名、夜間は2名配置され、適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。 職員研修の内容及び回数は適切か。	内部研修について、4月に施設管理運営に関する情報交換を実施しており、9月・2月にも防災や危機管理等に関する研修会を実施する予定である。外部研修についても、業務に支障がない範囲で参加する予定であり、今まで研修に参加した際の研修資料については全職員に回覧するなど、周知にも努めており、適正に行われている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、施設全般の保守点検が適正に行われている。施設設備等の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適正に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網を事務室に掲示しているほか、緊急時に対応できるよう職員にも持たせている。訓練実施計画に基づき、7月と2月に避難訓練の実施を予定しており、7月の訓練では放課後児童会の児童にも参加してもらう予定である。また、市から配備された防災資機材や生活備蓄物資の保管場所等の周知に努めるなど適正に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録書、使用申請書や受講申請書等の簿冊は鍵付のキャビネットに保管し、不要な持ち出しがないようにしている。パソコンにはパスワードを設定し、年1回変更しているほか、廃棄文書はシュレッダーで処理するなど、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	不要箇所の消灯を徹底し、省エネに努めている。また、駐車場、外灯、スポットライトの消灯にも取り組むほか、冷蔵設備についても温度管理（26℃）に努めている。また、ポスターを掲示し、来館者へも理解と協力を呼びかけており、適正に行われている。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	障がい者等の体の不自由な利用者がいた場合にはできる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるように適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	利用希望が多い多目的ホール、和風学習室A・B、サークル学習室については、月末に抽選会を実施しているほか、規則等に従って利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	事業実施の都度、利用者アンケートを実施し、次期事業の企画立案の参考としている。館内に意見箱を設置し、意見要望等の把握に努めている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	内部会議により検討が行われ、サービス向上を図っている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座に関するチラシ等の掲示や周辺町会への回覧により、市民への情報提供が適切に実施されている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	町会や地域の団体等が事業の周知や実施に協力するなど、地域との連携を図っており、適正に行われている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。

運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。

今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター

【電話】 017-734-0163

【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市沖館市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市沖館市民センターについては、青森市沖館市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月25日

施設名	青森市沖館市民センター
設置目的	住民のふれあいと連帯感あふれる地域社会づくりを推進し、併せて地域文化活動の振興、生涯学習の充実、健康の増進等を図り、もって豊かな市民生活の形成に資するため設置しています。
所在地	青森市沖館一丁目1番11号
指定管理者	【名称】青森市沖館市民センター管理運営協議会 【代表者】会長 菊地 賢一 【住所】青森市沖館一丁目1番11号
指定期間	令和3年4月1日 から 令和8年3月31日 まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果		
		適正	要改善	
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は基本的に市内在住者である。（20人中20人、100%）	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、総括業務員1名、管理運営・事業関連業務員4名、施設管理業務員5名、清掃員4名、放課後児童会指導員5名の計20名で勤務ローテーションを組み、日中は概ね5~7名、夜間は2名配置され、適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。 職員研修の内容及び回数は適切か。	内部研修について、4月に施設管理運営に関する情報交換を実施しており、9月・2月にも防災や危機管理等に関する研修会を実施する予定である。外部研修についても、業務に支障がない範囲で参加する予定であり、今まで研修に参加した際の研修資料については全職員に回覧するなど、周知にも努めており、適正に行われている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、施設全般の保守点検が適正に行われている。施設設備等の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適正に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網を事務室に掲示しているほか、緊急時に対応できるよう職員にも持たせている。訓練実施計画に基づき、7月と2月に避難訓練の実施を予定しており、7月の訓練では放課後児童会の児童にも参加してもらう予定である。また、市から配備された防災資機材や生活備蓄物資の保管場所等の周知に努めるなど適正に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録書、使用申請書や受講申請書等の簿冊は鍵付のキャビネットに保管し、不要な持ち出しがないようにしている。パソコンにはパスワードを設定し、年1回変更しているほか、廃棄文書はシュレッダーで処理するなど、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	不要箇所の消灯を徹底し、省エネに努めている。また、駐車場、外灯、スポットライトの消灯にも取り組むほか、冷蔵設備についても温度管理（26℃）に努めている。また、ポスターを掲示し、来館者へも理解と協力を呼びかけており、適正に行われている。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	障がい者等の体の不自由な利用者がいた場合にはできる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるように適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	利用希望が多い多目的ホール、和風学習室A・B、サークル学習室については、月末に抽選会を実施しているほか、規則等に従って利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	事業実施の都度、利用者アンケートを実施し、次期事業の企画立案の参考としている。館内に意見箱を設置し、意見要望等の把握に努めている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	内部会議により検討が行われ、サービス向上を図っている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座に関するチラシ等の掲示や周辺町会への回覧により、市民への情報提供が適切に実施されている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	町会や地域の団体等が事業の周知や実施に協力するなど、地域との連携を図っており、適正に行われている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。

運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。

今後も、引き続き施設の良い管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター

【電話】 017-734-0163

【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市荒川市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市荒川市民センターについては、青森市荒川市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月28日

施設名	青森市荒川市民センター
設置目的	住民のふれあいと連帯感あふれる地域社会づくりを推進し、併せて地域文化活動の振興、生涯学習の充実、健康の増進等を図り、もって豊かな市民生活の形成に資するため設置しています。
所在地	青森市大字荒川字柴田129番地1
指定管理者	【名称】青森市荒川市民センター管理運営協議会 【代表者】会長 落合 茂 【住所】青森市大字荒川字柴田129番地1
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果		
		適正	要改善	
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は基本的に市内在住者である。（11人中11人、100%）	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、事務業務員（経理・事業・管理）3名、図書業務員3名、夜間業務員2名、清掃員2名の計11名で、勤務ローテーションを組み、日中は概ね3名程度、夜間は2名と適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。職員研修の内容及び回数は適切か。	内部研修として、管理運営業務等に関する事務打ち合わせや情報共有を毎月1回実施している。外部研修についても、事業実施に係る情報交換会等に参加しており、今後も業務に支障のない範囲で参加することとしている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、施設全般の保守点検が適正に行われている。施設設備等の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適正に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網を事務室に掲示しているほか、緊急時に対応できるよう職員にも持たせている。また、防災マニュアルを作成し、事務室のわかりやすい場所に設置している。今年度は6月に1回目の防災訓練を実施し、12月に2回目の実施を予定するなど、適正に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録書、使用申請書や受講申請書等の簿冊は、専用のキャビネットに保管し、不要な持ち出しがないようにしている。また、パソコンはパスワードで管理し、廃棄文書はシュレッダーで処理している。利用団体代表者等の連絡先等の紹介は事前に了解を受けた団体のみ行うなど、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	不要な照明の消灯及び部分空調を徹底し、省エネに努めている。冷暖房に関しても温度管理を徹底するとともに、ポスターを掲示し、来館者へも理解と協力を呼びかけており、適正に行われている。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	障がい者等の体の不自由な利用者がいた場合にはできる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるよう適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	利用希望が多い多目的ホールについては、月末に抽選会を実施しているほか、規則等に従って利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	館内に意見箱を設置し、利用者の声を積極的に聞いている。事業実施の都度、利用者アンケートを実施しニーズの把握に努め、次期事業の企画立案の参考としている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	内部会議により検討が行われ、サービス向上を図っている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座に関するチラシ等の掲示や町会回覧版等により、市民への情報提供は適切に実施されている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	正面玄関横に「荒川地域を考える会」による花壇や小規模の農園が作られるなど、地域との連携を図られている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。

運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。

今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター

【電話】 017-734-0163

【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市東部市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市東部市民センターについては、青森市東部市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月19日

施設名	青森市東部市民センター
設置目的	社会教育法第20条の目的である、区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため設置しています。
所在地	青森市原別三丁目8番1号
指定管理者	【名称】青森市東部市民センター管理運営協議会 【代表者】会長 大坂 昭 【住所】青森市原別三丁目8番1号
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果		
		適正	要改善	
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は基本的に市内在住者である。（9人中9人、100%）	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、管理運営業務6名、清掃業務2名の計9名で勤務ローテーションを組み、日中は2～3名、夜間は2名配置され、適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。職員研修の内容及び回数は適切か。	接遇等に関する内部研修を月1回実施している。外部研修も年2回参加予定であり、適切に行われている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、適切に行われている。施設設備の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適切に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網、緊急時の外部委託の連絡先を事務室内に掲示するほか、職員にも持たせている。消防訓練は、5月に1回目を実施し、10月に2回目の実施を予定しており、適切に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録書等の個人情報が含まれる簿冊は、鍵付キャビネットに保管している。廃棄文書は、シュレッダーで処理するなど、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	蛍光灯の間引きや不要箇所の消灯など、省エネに努めている。館内にポスターを掲示し、来館者へ節電に対する理解と協力を呼びかけており、適切に取り組んでいる。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	体の不自由な利用者がいた場合は、できる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるよう適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	利用団体相互の調整により、平等に利用されている。調整が困難な場合は、抽選を行うこととしており、規則等に従って利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	事業実施の都度、利用者アンケートを実施し、次期事業の企画立案の参考としている。また、館内に意見箱を設置し意見要望等の把握に努めているほか、「市に寄せられた主なご意見と回答」を業務員で回覧及び情報共有し、市民への対応の参考としている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	定期的に「接遇・挨拶・窓口チェック」を行い、サービス向上を図っている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	貸館だけでなく、ロビー展（色えんぴつ展、さつき展、魚拓展など）やイベント、夏祭りを開催している。また、「東部市民センターだより」で周知するなど、市民が足を運ぶ機会を増やしている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	センターの自主事業を開催する際には地元町会へ回覧板等で周知して参加を呼びかけるなど、地域との連携を図っている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。
 運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。
 今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター
 【電話】 017-734-0163
 【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市大野市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市大野市民センターについては、青森市大野市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月26日

施設名	青森市大野市民センター
設置目的	社会教育法第20条の目的である、区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため設置しています。
所在地	青森市大字大野字若宮71番地
指定管理者	【名称】青森市大野市民センター管理運営協議会 【代表者】会長 加川 史 【住所】青森市大字大野字若宮71番地
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

	評価項目	実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は基本的に市内在住者である。（7人中7人、100%）	○	
	職員の適正配置がなされているか。	午後5時以降の夜間帯における職員配置は、防犯対策上2名以上の職員をもって充てるべきところ、欠員の影響により、常時2名の体制を確保できていなかった。		○
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。職員研修の内容及び回数は適切か。	接遇向上や生涯学習の推進を目的に内部研修を3回実施している。外部研修は3回参加している。今後も業務に支障のない範囲で参加予定であり、適切に行われている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、適切に行われている。施設設備の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適切に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網、緊急時の外部委託の連絡先を事務室内に掲示している。消防訓練は、7月に1回目を実施し、1月に2回目の実施を予定しており、適切に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	施設利用に係る申請書等個人情報が含まれるものは、鍵付キャビネットに保管し、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	照明の部分点灯や和室の照明のLED化など、省エネに努めている。また、貸し部屋にポスターを掲示し、来館者に節電の取組への理解と協力を呼びかけており、適切に取り組んでいる。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	体の不自由な利用者がいた場合は、できる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるよう適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	利用団体相互の調整により、平等に利用されている。調整が困難な場合は、抽選を行うこととしており、利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	市民向け講座実施の際、利用者アンケートを実施し、次期事業の企画立案の参考としている。館内に意見箱を設置し、意見要望の把握に努めており、適正に行われている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	接遇研修を行うとともに、利用者にとって親しみのある窓口となるよう努めている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座に関するチラシの掲示や町会回覧版等により、市民への情報提供が適切に行われている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	町会や地域の団体等が事業に協力するなど、地域との連携を図っており、適正に行われている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

施設の管理状況、収支決算等は概ね適正であるものの、午後5時以降の夜間帯に常時2名の体制を確保できておらず、適正な人員配置とはなっていなかった。

運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。

今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

午後5時以降の夜間帯における職員配置は、防犯対策上2名以上の職員をもって充てることとしていたが、欠員状態となった影響により、常時2名の体制を確保できていなかったことから、今後、改善が必要である。

指定管理者と協議を行いながら、早期に改善が図られるよう努めていく。

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター

【電話】 017-734-0163

【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市横内市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市横内市民センターについては、青森市横内市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月26日

施設名	青森市横内市民センター
設置目的	社会教育法第20条の目的である、区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため設置しています。
所在地	青森市大字横内字亀井28番地2
指定管理者	【名称】青森市横内市民センター管理運営協議会 【代表者】会長 舘山 義光 【住所】青森市大字横内字亀井28番地2
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

	評価項目	実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は基本的に市内在住者である。（8人中8人、100%）	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、管理運営業務5名、清掃業務2名の計8名で勤務ローテーションを組み、日中は2~3名、夜間は2名配置され、適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。 職員研修の内容及び回数は適切か。	接遇等に関する内部研修を月1回実施している。外部研修は、1回参加し、業務に支障のない範囲で今後も参加予定であり、適切に行われている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、適切に行われている。施設設備の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適切に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網、緊急時の外部委託業者の連絡先を事務室内に掲示しているほか、職員にも持たせている。消防訓練は、10月、3月に実施を予定しており、適切に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録書等の個人情報が含まれる簿冊は、鍵付キャビネットに保管している。廃棄文書は、シュレッダーで処理するなど、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	不要箇所の消灯を徹底するなど、適切に取り組んでいる。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	体の不自由な利用者がいた場合は、できる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるよう適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	利用団体相互の調整により、平等に利用されている。調整が困難な場合は、抽選を行うこととしており、利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	市民向け講座実施の際、利用者アンケートを実施し、次期事業の企画立案の参考としている。館内に意見箱を設置し、意見要望の把握に努めており、適正に行われている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	利用者からの声を得るため、1階ロビーに投票箱を設置し、サービス向上を図っている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座に関するチラシ等を掲示し、市民への情報提供が適切に行われている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	近隣学校及び地域や関係団体と連携が図られており、適正に行われている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。

運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。

今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター

【電話】 017-734-0163

【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市戸山市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市戸山市民センターについては、青森市戸山市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月28日

施設名	青森市戸山市民センター
設置目的	社会教育法第20条の目的である、区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため設置しています。
所在地	青森市蛸沢四丁目1番4号
指定管理者	【名称】青森市戸山市民センター管理運営協議会 【代表者】会長 寺嶋 多吉 【住所】青森市蛸沢四丁目1番4号
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

	評価項目	実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は基本的に市内在住者である。（9人中9人、100%）	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、管理運営業務6名、清掃業務2名の計 名で勤務ローテーションを組み、日中は2～3名、夜間は2名配置され、適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。職員研修の内容及び回数は適切か。	接遇等に関する内部研修を2回実施している。外部研修に2回参加し、業務に支障のない範囲で今後も参加予定であり、適切に行われている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、適切に行われている。施設設備の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適切に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網、緊急時の外部委託業者の連絡先を事務室内に掲示するほか、職員に持たせている。消防訓練は、4月に1回目を実施し、10月に2回目の実施を予定しており、適切に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録書等の個人情報が含まれる簿冊は、鍵付キャビネットに保管している。廃棄文書は、シュレッダーで処理するなど、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	不要箇所の消灯やLED化を進めるなど省エネに努めており、適切に取り組んでいる。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	体の不自由な利用者がいた場合は、できる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるよう適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	利用団体相互の調整により、平等に利用されている。調整が困難な場合は、抽選を行うこととしており、規則等に従って、利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	事業実施の際、利用者アンケートを実施しニーズの把握に努め、次期事業の企画立案の参考としている。館内に意見箱を設置し、意見要望の把握に努めている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	内部会議による検討や利用者からの声を得るための投票箱を設置するなど、サービス向上を図っている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座に関するチラシ等の掲示により、適切に実施されている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	町会や地域の団体等が事業に協力するなど、地域との連携を図っており、適正に行われている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。
 運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。
 今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター
 【電話】 017-734-0163
 【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「北部地区農村環境改善センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

北部地区農村環境改善センターについては、青森市北部地区農村環境改善センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月25日

施設名	北部地区農村環境改善センター
設置目的	農業経営及び農家生活の改善合理化、農業者等の健康増進、地域連帯感の醸成等を図り、農村の環境整備を組織的に推進するため設置しています。
所在地	青森市大字奥内字宮田41番地3
指定管理者	【名称】青森市北部地区農村環境改善センター管理運営協議会 【代表者】会長 高森 泰彦 【住所】青森市大字奥内字宮田41番地3
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果		
		適正	要改善	
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は基本的に市内在住者である。（9人中9人、100%）	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、管理運営業務6名、清掃業務2名の計9名で勤務ローテーションを組み、日中は2～3名、夜間は2名配置され、適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。職員研修の内容及び回数は適切か。	接遇等に関する内部研修を1回実施しており、今後も実施予定である。生涯学習や地域コミュニティ活動等の推進を目的に外部研修にも1回参加しており、適切に行われている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、適切に行われている。施設設備の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適切に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網、緊急時の外部委託の連絡先を事務室内に掲示しているほか、職員にも持たせている。消防訓練は、9月と3月に実施予定であり、適切に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録書等の個人情報が含まれる簿冊は、鍵付キャビネットに保管している。廃棄文書は、シュレッダーで処理するなど、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	照明の部分点灯、不要箇所の消灯の徹底、紙の裏面再利用など、省エネに努めている。館内にポスターを掲示し、来館者へ節電に対する理解と協力を呼びかけており、適切に取り組んでいる。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	体の不自由な利用者がいた場合は、できる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるよう適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	利用団体相互の調整により、平等に利用されている。調整が困難な場合は、抽選を行うこととしており、利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	事業実施後、利用者アンケートを行いニーズの把握に努め、次期事業の企画立案の参考にしている。一階ロビーに意見箱を設置し、意見要望等の把握に努めている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	苦情処理の受付担当者と責任者を決め、対応・解決にあたっている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座一覧や講座ごとに作成した募集チラシの館内掲示や、町会回覧板での周知など、市民への情報提供が適切に実施されている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	町会や地域の団体等が事業に協力するなど、地域との連携を図っており、適正に行われている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は事業計画書どおりに実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。

運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。

今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター

【電話】 017-734-0163

【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市油川市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市油川市民センターについては、元気町あぶらかわ市民センター運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月19日

施設名	青森市油川市民センター
設置目的	住民のふれあいと連帯感あふれる地域社会づくりを推進し、併せて地域文化活動の振興、生涯学習の充実、健康の増進等を図り、もって豊かな市民生活の形成に資するため設置しています。
所在地	青森市大字羽白字池上197番地1
指定管理者	【名称】元気町あぶらかわ市民センター運営協議会 【代表者】会長 葛西 清光 【住所】青森市大字羽白字池上197番地1
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果		
		適正	要改善	
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は市内在住者である。 (9人中9人、100%)	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、管理業務員5名、図書業務員3名の計9名で勤務ローテーションを組み、日中は概ね2名、夜間は2名が事務室に配置され、適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。 職員研修の内容及び回数は適切か。	内部研修は、接遇に関する研修等を実施しており、今後も随時実施予定である。外部研修についても、事業実施に係る情報交換会等に参加しており、今後も業務に支障のない範囲で参加することとしている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、施設全般の保守点検が適正に行われている。施設設備等の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適正に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網を防災マニュアルとともに事務室のわかりやすい場所に設置しているほか、避難訓練を7月と2月に実施予定であり、適正に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録書、使用申請書等の簿冊は鍵付キャビネットに保管し、不要な持ち出しがないようにしている。パソコンはパスワードで管理し、廃棄文書はシュレッダーで処理している。団体加入希望者から問い合わせがあれば、利用団体代表者に市民センターが連絡し、加入希望者に連絡してもらうように対応しており、個人情報の取扱いについては適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	照明の部分点灯や使用していない部屋の消灯を徹底し、再生紙を利用するなど継続して省エネに努めている。ポスターを掲示し来館者へも理解と協力を呼びかけており、適正に行われている。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	障がい者等の体の不自由な利用者がいた場合にはできる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるように適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	貸館業務については、利用申し込み解禁日に複数の利用希望者がいれば、その場で抽選を実施しているほか、規則等に従って利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	館内に意見箱を設置し、利用者の声を積極的に聞いている。事業実施の都度、利用者アンケートを実施しニーズの把握に努め、次期事業の企画立案の参考としている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	内部会議により検討が行われ、サービス向上を図っている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座に関するチラシ等の掲示や町会回覧版等により、市民への情報提供は適切に実施されている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	町会や地域の団体等が事業の周知や実施に協力するなど、地域との連携を図っており、適正に行われている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。

運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。

今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター

【電話】 017-734-0163

【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市西部市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市西部市民センターについては、青森市西部市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年7月21日

施設名	青森市西部市民センター
設置目的	住民のふれあいと連帯感あふれる地域社会づくりを推進し、併せて地域文化活動の振興、生涯学習の充実、健康の増進等を図り、もって豊かな市民生活の形成に資するため設置しています。
所在地	青森市大字新城字平岡163番地22
指定管理者	【名称】青森市西部市民センター管理運営協議会 【代表者】会長 関 良 【住所】青森市大字新城字平岡163番地22
指定期間	平成31年4月1日 から 令和6年3月31日 まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果		
		適正	要改善	
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は市内在住者である。 (17人中17人、100%)	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、庶務経理業務員1名、施設設備管理業務員3名、管理運営業務員2名、図書関連業務員1名、事業関連業務員1名、児童集会室支援員3名、プール業務員5名の計17名で勤務ローテーションを組み、日中は事務室4名・児童室2名・プール2名、夜間は事務室2～3名・プール2名が配置され、適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。 職員研修の内容及び回数は適切か。	内部研修として市民意見や苦情等への対応事例等について、随時、情報共有を図っている。外部研修についても、事業実施に係る情報交換会等に参加しており、今後も業務に支障のない範囲で参加することとしている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、施設全般の保守点検が適正に行われている。施設設備等の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適正に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網を事務室内に掲示しているほか、職員にも持たせている。防災マニュアルを事務室のわかりやすい場所に設置し、職員に周知している。10月と3月には防災訓練の実施を予定しており、適正に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録書、使用申請書等の簿冊は鍵付キャビネットに保管し、不要な持ち出しがないようにしている。パソコンはパスワードで管理し、廃棄文書はシュレッダーで処理している。利用団体代表者の連絡先等は事前に了解を受けた団体のみ紹介するなど、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	照明やOA機材などの適正使用及び不要箇所の消灯の徹底、空調温度管理、紙の裏面再利用など、継続して省エネに努めているほか、冷房設備についても温度管理を徹底している。また、ポスターを掲示し、来館者へも理解と協力を呼びかけており、適正に行われている。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	障がい者等の体の不自由な利用者がいた場合にはできる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるように適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	利用希望が多いアリーナ、多目的ホール等については、月末に抽選会を実施しているほか、規則等に従って利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	館内に意見箱を設置し、利用者の声の把握に努めている。事業実施の都度、利用者アンケートを実施しニーズの把握に努め、次期事業の企画立案の参考としている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	窓口のカウンター前に荷物置きを置くなど、利用者目線での対策が行われ、サービス向上を図っている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座に関するチラシ等の掲示など、市民への情報提供が適切に行われている。掲示については、「見やすい」「取りやすい」ための工夫がされている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	新城中央小学校と連携して児童集会室の管理運営を行なっている。また、地元文化団体や町会と共催で秋頃に写真展、絵画展や作品展を実施し、菊花展(11月)と雪を楽しむつどい(2月)を予定するなど、地域との連携を図っている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。

運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。

今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター

【電話】 017-734-0163

【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和5年度「青森市森林博物館」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市森林博物館については、青森県森林組合連合会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年8月1日

施設名	青森市森林博物館
設置目的	森林に関する資料を調査収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に市民の利用に供し、もって市民の教育・文化の発展に寄与すること。
所在地	青森市柳川2丁目4番37号
指定管理者	【名称】青森県森林組合連合会 【代表者】代表理事会長 須藤 廣明 【住所】青森市松原1丁目16番25号
指定期間	令和4年4月1日 から 令和9年3月31日 まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果	
		適正	要改善
管理について	適正な職員配置となっているか。	○	
	職員の研修が実施されているか。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	○	
	防犯、防災、緊急時の対応は、的確か。	○	
	個人情報保護について適切な対応が行われているか。	○	
	環境保全（省エネ、省資源等）に努めているか。	○	
運営について	市民の平等利用が確保されているか。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	○	
	事業は、施設の設置理念に沿い、計画的に実施されているか。	○	
	利用者のニーズに合致した魅力あるサービスを提供しているか。	○	

【総合評価】

施設の管理運営状況、事業実施状況、収支決算書については、いずれの項目においても適正と認められる。

広い年齢層から親しまれる運営を重視し、体験等を盛り込んだイベントの開催に精力的に取り組み、博物館ホームページの作成・更新等、PRにおいてもわかりやすい表現等に努めている。また、専門性を維持しながら、幅広い客層を対象とした取組により、集客力の向上に努めている。

今後においても、施設の適正な管理はもとより、施設の設置目的を踏まえ、魅力あるイベント等を開催するとともに、一層効果的な周知・広報を期待する。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局文化遺産課

【電話】 017-718-1392

【メール】 bunkaisan@city.aomori.aomori.jp